

絵本の本棚

「絵本の本棚」は子どもたちに読み聞かせをしている方々（おうちの方や読み聞かせボランティアの方、学校の先生 など）に向けて、絵本選びの参考になればということで作成しているテーマ別リストです。



「虫・ムシ・むしの本」

虫の生態や特徴がわかる本、虫が登場する絵本などいろいろな虫の絵本を集めました。



(凡例)

書名	著者名等	出版者	出版年	請求記号
あらすじ				
対象				

※ 対象区分（あかちゃんから／幼児から／小学生から）ごとに書名のアイウエオ順で掲載しています。
※ 対象区分はおおよその目安となりますので参考としてください。



あかちゃんから

ぱったくん (福音館の幼児絵本)

五味 太郎／作 福音館書店 1984.10 Z913.8/ジミ/

幼児(0～5歳)

はらぺこあおむし ボードブック

エリック・カール／さく もりひさし／やく 偕成社 1997.9 Z933.7/加/
月曜日、りんごをひとつ見つけて食べました。火曜日、梨をふたつ食べました…。おなじみのはらぺこあおむしの本がボードブックになりました。小さい読者にもページがめくりやすい、頑丈な造本。再刊。〈しかけつき〉

幼児(0～5歳)

むしむしだあれ? (はじめてのしぜんえほん)

今森 光彦／さく 今森 洋輔／絵 童心社 2006.6 Z486/17/
「あれっ? まあるいよ なんだろう?」「お花のかげから、のぞいているよ。だれかな? だれかな?」さまざな虫の姿を、生態に即して丁寧に描く。めくってうれしい、自然へのはじめの一步。

幼児(0～5歳)

むしむしでんしゃ (絵本・こどものひろば)

内田 麟太郎／文 西村 繁男／絵 童心社 2009.6 Z913.8/好/
ののたん、ののたん、ののたん、ののたん。畑や池、里山を走るいもむし電車に乗っているのは、チョウに、バッタに、よわむし!? なきむし?? そして、花畑駅についたいもむし電車は、すやすや眠り始めて…。

幼児(0～5歳)



幼児から

あおむしくん（新・自然きらきら）

久保 秀一／写真 七尾 純／文 偕成社 2002.11 Z486.8/ナ/
むしゃむしゃ食べて、脱皮をして、のそのそ歩くあおむしくんは、空を飛びたいなあと思いました。アゲハチョウの秘密も解説した、自然を身近に感じさせてくれる観察写真絵本。

幼児(0～5歳)

アリとくらすむし（ふしぎいっぱい写真絵本）

島田 たく／写真・文 ポプラ社 2015.4 Z486.7/ヌ/
アリは、じつはたくさんの虫たちと一緒にくらしています。アリからえさをもらう虫。アリを食べる虫。アリにかくれる虫。そして、アリと助けあう虫。アリと一緒に生きる虫たちを、迫力ある写真で紹介。見返しに写真あり。

幼児(0～5歳)、小初

ありとすいか

たむら しげる／作 リプロポート 1990.6 Z913.8/ヌ/

幼児(0～5歳)



ありんこぐんだん わははははは

武田 美穂／絵・文 理論社 2002.4 Z913.8/ヌ/
おさとうをこぼしたら、ありんこぐんだんやってくる。のをこえやまこえ、無人島にも宇宙のはてにもやってくる。子供とアリの追っかけっこをユーモラスに描く幼年向き絵本。

幼児(0～5歳)

おちばのしたをのぞいてみたら・・・（はっけんたんけんえほん）

皆越 ようせい／写真と文 ポプラ社 2000.8 Z486/ミ/
落ち葉の下にすんでいる極小の虫たちの世界を写真で紹介。ダンゴムシよりもっと小さなダニやトビムシたちの姿から、虫たちの生活、ミミズのあかちゃんの生まれる瞬間まで見せます。

幼児(0～5歳)、小初

かまきりのカマーくんといなごのオヤツちゃん

田島 征三／作 大日本図書 2010.5 Z913.8/ヌ/
おいしそうないなごと出あったかまきりのカマーくんは、明日のオヤツにしよう決めました。でもいなごは毎日カマーくん以外の敵に狙われて、食べられそうになっています。カマーくんはオヤツを守るために必死にたたかって…。

幼児(0～5歳)

きゃあああああああクモだ！（評論社の児童図書館・絵本の部屋）

リディア・モンクス／さく 評論社 2004.3 Z933.7/モ/
人間のペットになりたいと思ったクモちゃん。でも、なにをやってもうまくいかずに、「どっかに行ってしまう！」なんて言われてしまいます。そこで…。銀のクモの糸が宝石のように輝く楽しい絵本。

幼児(0～5歳)

キャベツがたべたいのです

シゲタ サヤカ／作・絵 教育画劇 2011.5 Z913.8/ツガ /

「キャベツが食べたい」と願うチョウチョたちがたどり着いた一軒の八百屋。話を聞いた八百屋のおじさんが作ってくれた特製ジュースを飲むと、チョウチョたちはたちまちおじさんになって…。切り抜いて作る指人形付き。

幼児(0～5歳)

クワガタどこどこ (えほん・ハートランド)

しろま せいゆう／作・絵 岩崎書店 1997.8 Z913.8/ヲ /

友達が、でかくてかっこいいクワガタをみつけてきた。ぼくも見つけてやるぞ。もの知りのおじさんにきいて、ぼくは森へクワガタを探しに行った。ねえ、クワガタ知らない? こんなツノのあるやつ。でも…どこにもいない…。

幼児(0～5歳)、小初

これもむしぜんぶむし (ひまわりえほんシリーズ)

内田 麟太郎／作 鈴木出版 2011.9 Z913.8/ヲ /

「知らない虫なんていない」といばっている虫の学者たち。そこへお腹がすくと騒ぎ出す「はらのむし」や、文字を読むのが好きな「むしめがね」、歯と歯の間にいる「にがむし」などがあらわれて…。

幼児(0～5歳)

じゅえきレストラン (ふしぎいっぱい写真絵本)

新開 孝／写真・文 ポプラ社 2012.06 Z486/ツ /

木からしみだしたじゅえきに、クワガタムシやカブトムシ、チョウやハチなど、さまざまな虫たちが集まってくる。みんな、何をしているのかな? 虫たちのレストランを、迫力満点の写真で紹介します。

幼児(0～5歳)、小初

だんごむしそらをとぶ

松岡 達英／作 小学館 2000.7 Z913.8/ヲ /

ぼく、だんごむし。すご～く恐がりなので、びっくりするとすぐまん丸になってしまいます。でもね、ぼくにもでっかい夢があるんだぞ。コロコロ、もぞもぞ、だんごむしの冒険を描く。

幼児(0～5歳)

てんてんむし (絵本・ふしぎはたのしい)

あべ 弘士／作 童心社 1999.7 Z913.8/ヲ /

虫は、からだにいろんな模様を持っている。それは、虫のことば。虫はこのことばを使って、ずっと昔からわたしたちに話しかけてきたんだよ。てんてんやしましま、漢字や英語やいろいろな形…たくさんの模様を持った虫が大集合。

幼児(0～5歳)

ハエくん

グスティ／さく 木坂 涼／やく フレーベル館 2007.1 Z963/ガス /

待ちに待った日がやってきました。ハエくんは今日、泳ぎに行くんです。日焼け止めのクリーム、ビーチマット、ビーチボール。忘れ物もないし、完璧です!ところが急に暗くなってきて…!? ユーモアたっぷりのメキシコ絵本。

幼児(0～5歳)

ハサミムシのおやこ (ふしぎいっぱい写真絵本)

皆越 ようせい/写真・文 ポプラ社 2008.5 Z486.49/ミ/

ハサミムシは、おしりにはさみを持った小さな虫。冬の終わりにたまごをうんで、子育てをします。山の中の小さな川沿いで、ハサミムシの子育てをのぞいてみよう。懸命に生きる親子のいのちの物語。Z486.49/ミ/

幼児(0~5歳)、小初

ほたるホテル (こどものとも傑作集 やなぎむらのおはなし)

カズコ・G・ストーン/作 福音館書店 1998.10 Z933.7/ホ/

毎年夏のあいだだけひらく「ほたるホテル」は虫たちの楽しみです。でも思いがけないお客や困ったお客もやってきて…。乱暴もののカエルをどうやって追い出せばいいでしょう。大きなやなぎの木の下の、虫たちの村のお話。

幼児(3~5歳), 小初

みつばち ぴい (フレーベル館復刊絵本セレクション)

北 杜夫/文 和田 誠/絵 フレーベル館 1964.5 Z913.8/サ/

みつばちの巣箱の中は、大変な忙しさ。誰も怠けているものはいないはず。おやおや、ひとりいましたよ。何にもしないで寝ているみつばちぴいです。働きばちに起こされて、ぴいは仕方なくみつを探りに野原へ行きますが…。

幼児(3~5歳)

むしたちのうんどうかい (絵本・こどものひろば)

得田 之久/文 久住 卓也/絵 童心社 2001.9 Z913.8/ウ/

林の中の広場で、むしたちのうんどうかいが始まります。走って走って、さあ、どのむしが早いかな？虫嫌いな子どもや虫に関心のない子どもたちにも虫に親しんでもらえるよう、ちょっと人なつっこくユーモラスに描いた絵本。

幼児(0~5歳)

むしのかお (ふしぎいっぱい写真絵本)

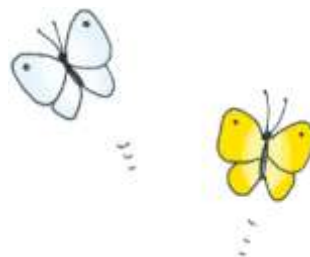
新開 孝/写真・文 ポプラ社 2010.7 Z486.1/ツ/

かわいい顔、こわい顔、おもしろい顔、ふしぎな顔…。個性豊かな虫の顔がせいぞろい! さまざまな昆虫の顔をマイクロレンズを使って撮影した写真絵本。

幼児(0~5歳)、小初



小学生から



アシナガバチの親子 ブンちゃんのねがい (ぼくたち親子だよ)

新開 孝/写真 深山 さくら/文 旺文社 2007.12 YZ486.7/ツ/

春です。アシナガバチのお母さんが野原を飛んでいます。巣を作る場所を探しているのです。アシナガバチの巣作りから子育ての様子までを描きます。

小初、小中

さよならトンボ

石亀 泰郎／著 文化出版局 2002.6 Z486.39/ｲ/

羽に夜露をびっしりつけて、森の中でトンボがまだ眠っている。「おはよう。もう起きようよ」そして冬。凍えたトンボがふらふらと落ちていく…。新潟県で出会った不思議で美しいトンボの死について描いた写真絵本。

小

まけるなアオムシくん！ (すずのねえほん もの知り絵本)

福山 とも子／作・絵 銀の鈴社 2010.6 YZ486.8/㍑/

クロアゲハの幼虫、アオムシくんたちが、卵から孵化し、さまざまな困難を経て大人のチョウになるまでを、優しいまなざしで描く。クロアゲハの観察や、蝶に関する知識が身につく「ものしりコーナー」も収録。

小中、小上

もんばんアリと、月

さとみ きくお／さく しおたまさき／え 長崎出版 2012.12 Z913.8/㍑/

大きな頭で、巣穴の入り口を塞ぎ、自ら“門”になるのが唯一の仕事という“もんばんアリ”になる宿命を背負った少年アリ。ぼくは、なんのために生まれてきたの？2匹のアリが生き方を問う、静かに美しい物語。

小初

うまれたよ!セミ (よみきかせいきものしゃしんえほん)

新開 孝／写真 小杉 みのり／構成・文 岩崎書店 2013.12 Z486.5/㍑/

ごまつぶよりも小さい、セミのたまご。たまごは木の中で秋を過ごし、寒い冬を越す。6月。雨がたくさん降って、木がびっしょり濡れると…。セミの誕生や成長の様子を大きな写真で紹介。命のドラマを感じられる写真絵本。

小初

うまれたよ!ダンゴムシ (よみきかせいきものしゃしんえほん)

皆越 ようせい／写真 小杉 みのり／構成・文 岩崎書店 2011.3 Z485.3/㍑/

お母さんのおなかの膜に産み付けられた卵からかえった赤ちゃんは、何日か経ってから、外に出て…。ダンゴムシの誕生や成長の様子を大きな写真で紹介。命のドラマを感じられる写真絵本。

小初

うまれたよ!ヤゴ (よみきかせいきものしゃしんえほん)

中瀬 潤／写真 小杉 みのり／構成・文 岩崎書店 2011.3 Z486.39/㍑/

水中の草の中から生まれるトンボ、ギンヤンマの幼虫ヤゴは、生まれてから10回以上も脱皮して大きくなっていく…。ヤゴの誕生や成長の様子を大きな写真で紹介。命のドラマを感じられる写真絵本。

小初

「よみきかせいきものしゃしんえほん」のシリーズは、他にも、アゲハ、アメンボ、アリ、アリジゴク、カイコ、カブトムシ、カマキリ、コオロギ、テントウムシ、バッタ、モンシロチョウ などなど



山形県立図書館 経営課調査相談担当

〒990-0041 山形市緑町1-2-36 (023) 631-2523 (代)

URL <http://www.lib.pref.yamagata.jp/>